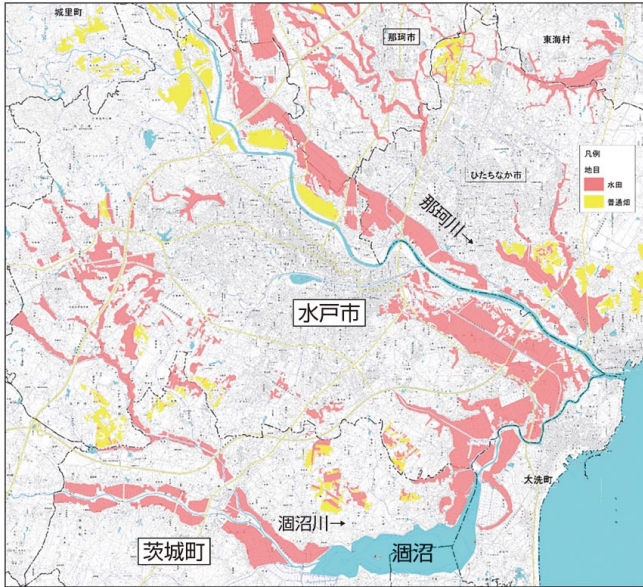


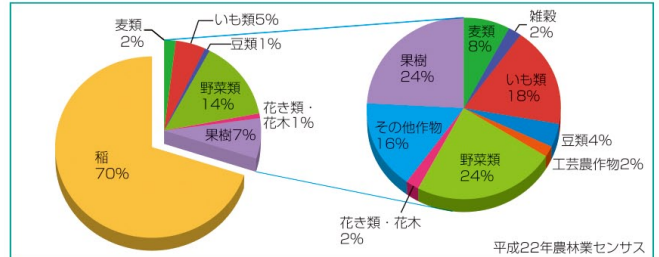
1 地域の概要

- 本地域は、茨城県のほぼ中央に位置し、一級河川那珂川及び一級河川涸沼川沿いに広がる水田農業地帯である。
- 茨城県の農業産出額は全国2位であり、本地域では水稻、小麦、大豆、かんしょ、ねぎ等の栽培が盛んに行われている。
- 飼料用米等の生産と地元畜産農家との連携も積極的に実施している。

水田分布状況図



類別作付面積



全国に誇る茨城県の主要農畜産物(品目別産出額)

全国第1位	全国第2位	全国第3位
鶏卵、メロン、ピーマン、レンコン、ほしいも、みず菜、チンゲンサイ、切り枝、芝、みつば	かんしょ、レタス、はくさい、梨、ごぼう、くり、らっきょう、パセリ、落花生、カリフラワー	ねぎ、にら、スイートコーン、かぼちゃ、春菊、花木類(鉢)、しそ、そらまめ、こんにゃくいも

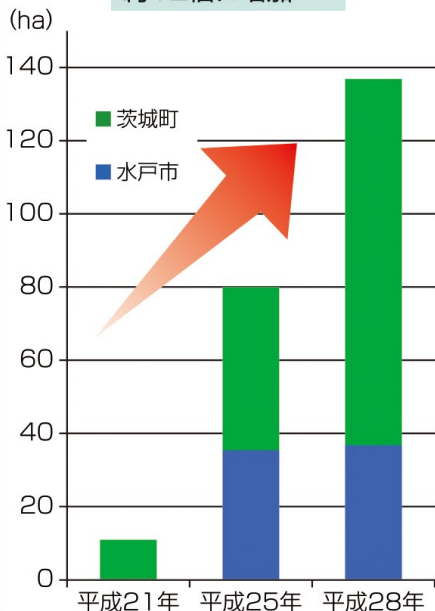
平成25年(茨城県HP)

2 地域農業の特徴

- 本地域では、水稻の転作作物として、稲作農家が生産調整に取り組みやすい品目として、平成21年から新規需要米(飼料用米、稲発酵粗飼料用稲)の栽培を開始している。
- 畜産農家との連携により、新規需要米を給与し独自ブランド化を推進している。

飼料用米作付面積

導入当初と比べて約12倍に増加



新規需要米の活用による耕畜連携の取り組み

飼料用米給与(養豚)

飼料自給力の向上、消費者の求める安心・安全面を考慮し、県内でもいち早く飼料用米給与の取組を開始。



「和之家豚(わのかとん)」としてブランド化。肉の風味や肉質が向上すると言われている。

飼料用米給与(養鶏)

養鶏場(茨城町内)



採卵鶏用の餌の7割を占めるトウモロコシを全て飼料用米に代替。鶏糞は肥料として活用され循環型農業を実現。



「穂の香卵(ほのかたまご)」としてブランド化。卵黄は淡色となる特徴、生臭さが無いと言われている。